

【過去の特別展 一覧（平成3年度～平成26年度）】

| 年度 | 回 | 期間 | 展示名称と内容 |
|---------------|----|-------------|--|
| 平成3 (1991) | 1 | 4.1～5.26 | 面河・石鎚春の自然展 春にみられる植物、昆虫の標本と写真約5,000点を展示した。 |
| | 2 | 6.1～7.15 | 面河・石鎚夏の自然展 7～8月にみられる植物、昆虫の標本と写真約3,000点を展示した。 |
| | 3 | 7.20～8.31 | 石鎚と世界のクワガタムシ展 石鎚山系におけるクワガタムシの垂直分布、日本列島における地理的変異などをテーマに標本約5,000点を展示した。 |
| | 4 | 9.5～10.6 | 面河・石鎚秋の自然展 秋にみられる植物、昆虫の標本と写真約5,000点を展示した。 |
| | 5 | 10.10～11.30 | 面河・石鎚のもみじ展 カエデなど紅葉植物の標本、写真、絵画約2,000点を展示した。 |
| 平成4 (1992) | 6 | 4.1～5.25 | 春の面河と石鎚百景展 春の風景や植物を中心に写真61点を展示した。 |
| | 7 | 6.1～7.15 | 食べられる野草と薬草展 身近な食用野草や薬草の標本と写真約200点を展示した。 |
| | 8 | 7.20～8.31 | 石鎚と世界のカブトムシ展 世界のカブトムシ・コガネムシの仲間について標本約5,000点を展示した。 |
| | 9 | 9.5～10.5 | 石鎚の化石と古代植物展 石鎚山にみられる堆積岩中の植物化石約20種の標本を展示し、新生代中新世の石鎚山周辺環境について解説した。 |
| | 10 | 10.10～11.30 | 面河・石鎚もみじ百景展 カエデなど紅葉植物の標本、写真、絵画約100点を展示した。 |
| 平成5 (1993) | 11 | 4.1～5.30 | 面河・石鎚の野鳥写真展 日本野鳥の会愛媛支部の撮影した野鳥写真40点を展示した。 |
| | 12 | 6.5～7.11 | 野外における危険な生物展 マムシやヤマカガシ、ドクガ類、ハチなど毒のある生物の存在や対処法などについて標本とパネルを展示した。 |
| | 13 | 7.20～8.31 | 石鎚と熱帯アジアのチョウ展 これまでに収集した石鎚山系と愛媛県内および東南アジアのチョウ類標本約2,000点を展示した。 |

| | | | |
|----------------|----|-------------|---|
| | 14 | 9.10～10.3 | 面河・石鎚山の蛾類展 これまでに収集した蛾類約 500 種 5,000 点の標本を展示した。 |
| 平成 6 (1994) | 15 | 4.29～5.23 | ブナ林の生物展 石鎚山系を中心にブナ林の環境を解説し、そこに生息する動植物約 700 点の標本を展示した。 |
| | 16 | 6.1～7.3 | 石鎚の昆虫と写真展 石鎚を特徴づける北方系・南方系の昆虫、ブナ帯にすむ昆虫を中心に標本と写真約 1,500 点を展示した。 |
| | 17 | 7.21～8.31 | 石鎚と世界の珍奇な甲虫類展 甲虫の分類や生物地理、石鎚山系の甲虫相などについて標本と写真約 10,000 点を展示した。 |
| | 18 | 9.10～10.10 | 土壌動物展 身近な土壌への関心を深めてもらうため、普段は見慣れない様々な落ち葉の下の生物を紹介した。 |
| | 19 | 10.22～11.30 | 日本の蝶・細密画展 天然記念物への指定等で採集禁止となっているチョウ類について、新居浜市在住の画家、加藤芳孝氏による細密画 34 点を展示した。 |
| 平成 7 (1995) | 20 | 4.1～4.2 | 面河溪谷春の自然展 面河溪谷の春の見どころを紹介するため、植物や両生類、爬虫類、昆虫類の標本と写真約 550 点を展示した。 |
| | 21 | 4.29～6.19 | 大昔の生物展 瀬戸内海産のナウマンゾウの牙や骨、松山市産のウニや貝類の化石などを展示し、愛媛県周辺の昔の姿を紹介した。 |
| | 22 | 7.1～8.31 | 世界の昆虫類展 開館 5 周年記念として、世界の巨大なカブトムシや美しいチョウなど標本約 20,000 点を展示した。 |
| | 23 | 10.1～11.30 | 石ころ展 1.5×3mの四国の地質図を作成、その上に特徴ある岩石約 1,000 点を展示し、愛媛や石鎚周辺の地質や地史を紹介した。 |
| 平成 8 (1996) | 24 | 5.15～6.20 | 薬食草展 身の周りにある身近な薬草を中心に利用方法や働きなどを紹介、標本約 300 点、鉢植え約 50 点を展示した。 |
| | 25 | 7.1～9.1 | 石鎚山生物展 過去 5 年間で収集した動植物の標本約 15,000 点を展示した。 |

| | | | |
|-----------------|----|------------|--|
| | 26 | 10.2～11.30 | 面河のむかし展 昭和初期に一般家庭で使用されていた古い民具約 200 点を展示し、面河村の民俗について紹介した。 |
| 平成 9 (1997) | 27 | 4.25～6.15 | 夜の動物展 面河・石鎚にすむ夜行性の動物について剥製や写真約 200 点を展示し、分布や生態などを紹介した。 |
| | 28 | 7.2～8.31 | 石鎚と世界のチョウ展 石鎚を代表する北方系・南方系のチョウ、東南アジアやヨーロッパ、南米など世界のチョウについて標本約 15,000 点を展示した。 |
| | 29 | 10.1～11.30 | 土小屋の生き物と自然展 石鎚登山の起点となる土小屋についてその開発の歴史などについて古い地図や写真で紹介、動植物の標本も展示した。 |
| 平成 10 (1998) | 30 | 4.22～5.31 | 面河の鳥と花展 野鳥剥製と写真、春の野草の鉢植えなど約 200 点を展示、CDを使った鳥のさえずり検索コーナーを設置した。 |
| | 31 | 7.1～8.31 | 恐竜とともに栄えた生物展 恐竜の栄えた中生代を中心に化石やパネル約 3,000 点を展示し、生物進化の過程を解説した。 |
| | 32 | 10.1～11.30 | 面河の石と山草展 面河の岩石を年代の古い順に並べ、石鎚山の地史を解説、合わせて秋の山野草の鉢植えや石鎚山の写真を展示した。 |
| 平成 11 (1999) | 33 | 7.1～8.30 | 石鎚山系の動物と昆虫展 石鎚山系に生息する 3,000 種を超える動物、昆虫類について多数の標本を展示し、その複雑な関わり合いを紹介した。 |
| | 34 | 10.1～11.28 | 石鎚の蛾類展～蛾ってこんなにきれいだったのね～ 嫌われがち昆虫である蛾類について、実際にはアッと驚く美しい種や不思議な暮らしをしている種がいることを紹介した。 |
| 平成 12 (2000) | 35 | 7.20～8.31 | 石鎚と世界のカブトムシ・クワガタムシ展 開館 10 周年記念企画、世界のカブトムシ・クワガタムシについて標本箱 100 点を展示し、個体変異や適応進化などを紹介した。 |
| 平成 13 (2001) | 36 | 7.20～8.31 | 巨大昆虫と微小昆虫の世界 生き物のサイズをテーマに昆虫の多様性を紹介、顕微鏡を使った微小昆虫の観察コーナーを設置した。 |
| 平成 14 (2002) | 37 | 7.19～9.1 | ぴかり☆てかり 輝く昆虫の世界 タマムシやハナムグリ、チョウなど光り輝く昆虫の標本を展示し、輝くための特殊な表面構造やその意義などを解説した。 |

| | | | |
|-----------------|----|-------------|--|
| 平成 15 (2003) | 38 | 7. 19～8. 31 | むし・虫・ムシ～石鎚と世界の昆虫たち～ これまでに収集した膨大な数の昆虫標本を展示し、石鎚山系の昆虫相や絶滅の恐れのある種などについて紹介した。 |
| 平成 17 (2005) | 39 | 7. 20～8. 31 | かぶくわ ザ・ワールド 夏の祭典 外国産や国内各地のカブトムシ・クワガタムシの売買が盛んになったため危惧されている外来種問題について紹介した。 |
| 平成 18 (2006) | 40 | 7. 22～8. 31 | むしむし64のトリビア 昆虫たちのアツと驚く雑学(トリビア)64テーマについて標本や写真を使って紹介、へえ～と思うトリビアにはシールを張っていく参加型の展示を行った。 |
| 平成 19 (2007) | 41 | 7. 21～9. 2 | あなたの知らないふつうの虫 ～びっくり！身近な昆虫のすがた・くらし～ 個体数が多く誰でも簡単に出会える「普通種」について、意外に知られていない興味深い姿や生態を標本と写真で紹介した。 |
| 平成 20 (2008) | 42 | 7. 19～8. 31 | おもごでワッショイ！むしの夏祭り 博物館全体をお祭り会場に見立て、標本展示やクイズ、塗り絵、折り紙など昆虫の不思議を体験できる多数のブースを設置、「誰でも昆虫写真コンテスト」を同時開催。 |
| 平成 21 (2009) | 43 | 7. 18～8. 30 | 愛媛と世界のクワガタムシ ～石鎚で見つけた新種タカネルリクワガタ～ 2007年に新種として発表された石鎚が模式産地のタカネルリクワガタを中心に、愛媛と世界のクワガタムシの分布や生態を紹介した。 |
| 平成 22 (2010) | 44 | 7. 17～8. 31 | むしのからだ～体の仕組みから昆虫の多様性を探る～ 石鎚山系に生息する昆虫について、各分類群ごとのからだの構造や機能を標本をバラバラにした「分解標本」で紹介した。 |
| 平成 23 (2011) | 45 | 7. 23～8. 31 | 世界と愛媛のバッタ・コオロギ・キリギリス 珍しい外国産種、愛媛県と久万高原町に生息する直翅類について生態写真と標本を展示、虫籠や玩具など鳴く虫の文化誌に関する工芸品も展示した。 |
| 平成 24 (2012) | 46 | 7. 21～9. 2 | あなたの知らないカメムシの世界 一般に臭い虫・害虫として嫌われ者のレッテルを張られているカメムシについて知られざる魅力を紹介した。 |
| 平成 25 (2013) | 47 | 7. 20～9. 1 | ぬけがらコレクション～脱皮で変身する生き物たち～ 昆虫やクモ、ダンゴムシ、エビなどの節足動物、脊椎動物であるヘビやカメ、カエルなどの一風変わった抜け殻を展示し、その形の精巧さ、脱皮をする生き物の成長の不思議を紹介した。 |
| 平成 26 (2014) | 48 | 7. 19～8. 31 | ホネものがたり 脊椎動物の骨格標本を展示し、体を支える骨格の仕組み、その複雑さや美しさを紹介、骨の構造や類似性からみえる動物の暮らしや進化の道筋といった骨に隠れた「ものがたり」を解説。 |

| | | | |
|-----------------|----|-------------|---|
| 平成 27 (2015) | 49 | 7. 18～8. 31 | <p>ホネものがたり</p> <p>石鎚山系や久万高原町と愛媛県に生息する両生類（サンショウウオやイモリ、カエル）について、一般的に知られていない生活史や分布、種類、分類、研究史など解説資料（飼育展示含む）を用いて紹介した。</p> |
| 平成 28 (2016) | 50 | 7. 21～9. 4 | <p>危険生物～悪者たちの真実～</p> <p>人間に害をなす危険な動物のうち、私たちに身近な両生類・爬虫類・昆虫・その他の節足動物にスポットを当て、生態や姿、被害実態、身の守り方などを解説。事故を起こさないための予防法や被害を受けた際の適切な処置法について普及した。</p> |
| 平成 29 (2017) | 51 | 7. 21～9. 3 | <p>巨大昆虫・微小昆虫</p> <p>世界に生息する巨大昆虫と微小昆虫を標本や写真で紹介し、そのサイズからみえてくる昆虫の多様性および進化の不思議について解説。</p> |
| 平成 30 (2018) | 52 | 7. 21～9. 1 | <p>家の中のきらわれ生物～天井裏と床下の百鬼夜行～</p> <p>ハエやゴキブリ、ネズミなど家の中を棲家とする衛生動物について、その生態や見分け方などを標本や写真、動画で紹介し、これらの動物たちが人間の生活に入り込む優れた適応能力を知ることで、生物の進化や人間と自然の繋がりについて普及した。</p> |
| 令和元 (2019) | 53 | 7. 21～9. 1 | <p>ときめく石きらめく虫～久万高原のお宝鉱物と世界の輝く昆虫～</p> <p>かつて久万高原町の安山岩碎石場から多産した沸石類や方解石などの美しい鉱物を一堂に展示し、地域の地史や産業史を紹介することで、足元に埋もれた資源（宝）の掘り起こしを行った。同時に「輝く」をテーマに地学と昆虫学という全くの異分野を同時に扱うことで、幅広い年齢層に鉱物と昆虫の造形美をより効果的に伝え、自然科学の面白さや奥深さの普及を目指した。</p> |



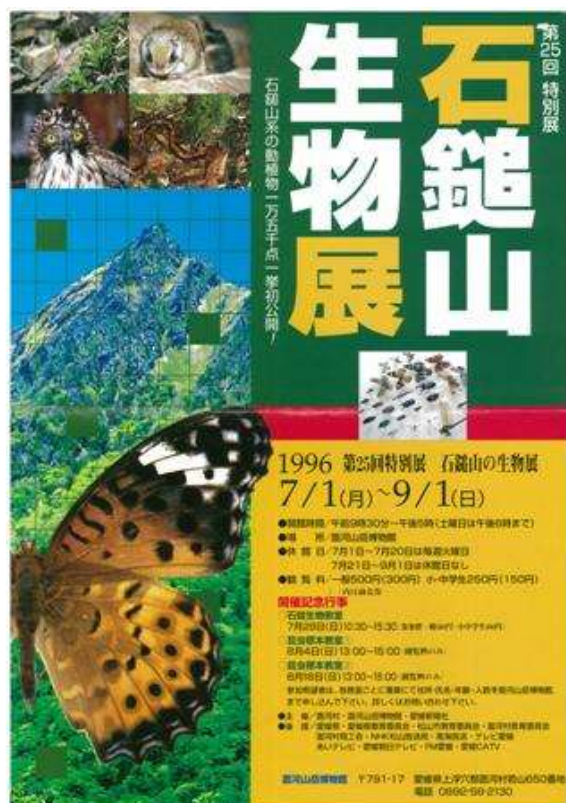
第 8 回特別展「石鎚と世界のカブトムシ展」(平成 3 年度)



第 17 回特別展「石鎚と世界の珍しい甲虫類展」(平成 6 年度)



第 22 回特別展「世界の昆虫類展」(平成 7 年度)



第 25 回特別展「石鎚山生物展」(平成 8 年度)



石鎚と世界のチョウ展

石鎚山系と世界のチョウ10,000点一挙公開!!
1997・7/2(水)▶8/31(日)

●開催期間：平成9年7月2日～8月31日（土曜日は午後閉館まで）
●場 所：富山県立博物館
●観 覧 料：7月2日～7月20日（開館当日のみ）100円（小学生50円）
7月21日～8月31日（休館日含む）100円（小学生50円）
●観 覧 料：一般500円（小学生200円）
●休 館 日：7月20日、7月27日、8月3日、8月10日、8月17日、8月24日、8月31日
●お問い合わせ：富山県立博物館 企画課 電話：076-235-2131

第28回特別展「石鎚と世界のチョウ展」(平成9年度)

富山県立博物館
第31回特別展

恐竜と共に栄えた生物展

～大むかしの生物たち～
1998年7/1(水)～8/31(日)

●開催期間：平成10年7月1日～8月31日（土曜日は午後閉館まで）
●場 所：富山県立博物館（土曜日は午後閉館まで）
●観 覧 料：7月1日～7月20日（開館当日のみ）100円（小学生50円）
7月21日～8月31日（休館日含む）100円（小学生50円）
●観 覧 料：一般500円（小学生200円）
●休 館 日：7月20日、7月27日、8月3日、8月10日、8月17日、8月24日、8月31日
●お問い合わせ：富山県立博物館 企画課 電話：076-235-2131

第31回特別展「恐竜と共に栄えた生物展」(平成10年度)

自然の大石鎚河

石鎚山系の動物と昆虫展

第33回特別展

1999・7/1(日)▶8/30(日)

●開催期間：平成11年7月1日～8月30日（土曜日は午後閉館まで）
●場 所：富山県立博物館
●休 館 日：7月31日、8月6日、8月13日、8月20日、8月27日、8月31日
●お問い合わせ：富山県立博物館 企画課 電話：076-235-2131

第33回特別展「石鎚山系の動物と昆虫展」(平成11年度)

第35回特別展

石鎚と世界の カブトムシ・クワガタムシ展

開館10周年記念企画!!
2000/7・20thu▶8・30thu

●開催期間：平成12年7月20日～8月30日（土曜日は午後閉館まで）
●場 所：富山県立博物館
●休 館 日：7月19日、7月26日、8月2日、8月9日、8月16日、8月23日、8月30日
●観 覧 料：一般500円（小学生200円）
●お問い合わせ：富山県立博物館 企画課 電話：076-235-2131

富山県立博物館 富山県立動物園 富山県立植物園 富山県立自然史博物館 富山県立総合資料館 富山県立中央図書館 富山県立中央公民館 富山県立中央体育館 富山県立中央公民館 富山県立中央公民館 富山県立中央公民館

2000/8・5sat▶8・6sun

●開催期間：平成12年8月5日～8月6日（土曜日は午後閉館まで）
●場 所：富山県立博物館
●休 館 日：8月4日、8月11日、8月18日、8月25日、8月31日
●観 覧 料：一般300円（小学生100円）
●お問い合わせ：富山県立博物館 企画課 電話：076-235-2131

第35回特別展「石鎚と世界のカブトムシ・クワガタムシ展」(平成12年度)



第36回特別展「巨大昆虫と微小昆虫の世界」(平成13年度)



第37回特別展「ぴかり☆てかり 輝く昆虫の世界」(平成14年度)



第38回特別展「むし・虫・ムシ~石鎚と世界の昆虫たち~」(平成15年度)



第39回特別展「かぶくわ ザ・ワールド 夏の祭典」(平成16年度)



第40回特別展「むしむし64のトリビア」(平成17年度)



第41回特別展「あなたの知らないふつうの虫」(平成18年度)



第42回特別展「おもごでワッショイ! むしの夏祭り」(平成19年度)



第43回特別展「愛媛と世界のクワガタムシ ~石鎚で見つかった新種タカネリクワガタ~」(平成20年度)



第44回特別展「むしのからだ
～体の仕組みから昆虫の多様性を探る～」(平成22年度)



第45回特別展「世界と愛媛のバッタ・コオロギ・キリギリス」(平成23年度)



第46回特別展「あなたの知らないカメムシの世界」(平成24年度)



第47回特別展「ぬけがらコレクション～脱皮で変身する生き物たち～」(平成25年度)



第48回特別展「ホネものがたり」(平成26年度)